INTAKE AIR CONTROL DEVICE FOR DIESEL ENGINE

PO4NM-008US

Patent number:

JP3246320

Publication date:

1991-11-01

Inventor:

SAIGOU MIKIMASA; MATSUURA AKIRA

Applicant:

HINO MOTORS LTD

Classification: - international:

F02B31/02; F02M35/10

- european:

F02B31/06A; F02F1/42B

Application number:

JP19900039597 19900222

Priority number(s):

JP19900039597 19900222

Report a data error here

Abstract of JP3246320

PURPOSE:To select optimum swirl ratio by forming two intake ports of high and low swirl ports on each cylinder, and providing a distributing valve on the confluent part of respective intake manifolds for respective ports to control flow ratio of air to respective intake manifolds. CONSTITUTION:In the cylinder head of four valve type six cylinder diesel engine, a high swirl intake port 2 and a low swirl intake port 3 are provided on each cylinder, and respective intake ports 2, 3 are connected to respective intake manifolds 4, 5. A distributing valve 7 is arranged on the confluent part 6 of the respective intake manifolds 4, 5, and flow ratio of air flowing from an air cleaner or a turbocharger (not shown in the figure) into both intake manifolds 4, 5 is controlled by rotationally moving the distributing valve 7 around a supporting shaft 8, according to running condition of the engine. Hereby, optimum swirl ratio can be selected according to the running condition of the engine.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報 (A) (II)特許出願公開番号

特開平3-246320

(43)公開日 平成3年(1991)11月1日

	31/02 35/10	識別記号 G 3 0 1 B	ì	FI				技術表示箇所	
				F 0 2 B			G		
				F 0 2 M	35/10	3 0 1	В		
	審査請求	有	(全3頁)						
(21) 出願番号	特願平2-39597			(71)出願人 000000546 日野自動車株式会社 .					
(22) 出願日	平成2年(1990)2月22日			(70) 2 = = ±			野台3丁目	l番地l	
				(72)発明者	東京都		· 野台3丁目 社内	l番地l	日野自
				(72)発明者	•		#7 /. A-T [7]	1 TV tale 1	- - -
						日野市日 業株式会	野台3丁目 社内	I番地!	日野自
				(74)代理人	石山	博 (外)	l名)		

^{(54) 【}発明の名称】 ディーゼルエンジンの吸気コントロール装置

^{(57) 【}要約】本公報は電子出願前の出願データであるた め要約のデータは記録されません。

【特許請求の範囲】

(1) 1シリンダ当り2組の吸気ボートを有する子イーゼルエンジンにおいて、前記各組の吸気ボートを高スワールボートと低スワールボートとして構成し、各シリンダのこれら両者ボートにそれぞれ別の吸気マニホールドを接続し、高スワールボートへの吸気マニホールドと低スワールボートへの各吸気マニホールドの合流部に、これら各吸気マニホールドへの空気の流量比率をコントロールする分配台を配設することを特徴とするディーゼルエンジンの吸気コントロール装置。

1

【発明の詳細な説明】

[産業上の利用分野]

この発明は自動車用ディーゼルエンジンにおいて、低速から高速までの燃焼にマツチした吸気を得るために、スワール比をエンジンの回転に応じて可変とすることができる吸気コントロール装置に関する。

[従来の技術]

従来の4弁エンジンの吸気ボートは、高スワールが得られるスワールボートと低スワールのダイレクショナルボートに分かれており。

これらはすべて一体の吸気マニホールドに連結さ九ていた。

〔発明が解決しようとする課題〕

ところで一般に高速では低スワール、低速では高スワールとすることが、混合気形成に有利であることは良(知られているところであり、上述のようにすべての吸気マニホールドが一体に連結されていると、低速でスワール小、高速でスワール大となって、低速及び高速の双方 t;おいて最適な混合気が得られにくいということが経験された。

【´ 1 I 1 i 1 I を解決するための手段】ここにおいてこの発明は、1シリンダ当り2組の吸気ボートを有するディーゼルエンジンにおいて、前記各組の吸気ボートを高スワールボートと低スワールボートとして構成し。各シリンダのこれら両者ボートにそれぞれ5 S 1 1 の吸気マニホールドを接続し、高スワールボートへの吸気マニホールドと低スワールボートへの各吸気マニホールドの合流部に、これら各吸気マニホールドへの空気の流量比率をコントロールする分配弁を配設することを特徴とするディーゼルエンジンの吸気コントロール装置を提案するものである。

〔作用〕

前記構成からなるこの発明の装置において、エアクリーナ又はターボチャージャから供給される空気は前記合流部において、分配弁によって、その時々の運転条件に応じて高スワールボートへの吸気マニホールドと低スワールボートへの吸気マニホールドに、適切な流量比率で分配されるのである。

【実施例〕 .

次にこの発明を添付図面に示す実施例について説明する 50

先ず第1図ないし第3図に示す第一実施例において、1は4弁式6気筒ディーゼルエンジンのシリンダヘッドを示し、各シリンダには高スワールの吸気ボート2と低スワールの吸気ボート3とが備えられており、これら各シリンダの吸気ボート2及び吸気ボート3には各別の吸気マニホールド4及び5を接続させ、これら両吸気マニホールド4及び5を接続させ、これら両吸気マニホールド4及び5の合流部6において、分配す?7を配設し、この分配弁7を回動させることによって、エアクリ10 ーナ又はターボチャージャ(図示せず)から前記両吸気マニホールド4及び5へ流入する空気の流量比率をコントロールするのであって、支軸8の周に回動する前記分配弁7の作動によるコントロールの状態を第3図によって説明すると、(aH:よっては中間的なスワールが得られ、(b)によっては高スワールが。

(c) によっては低スワールが得られるのである。

第4図は前記分配弁7の一つの実施形態を示すもので2分配弁7を支承する支軸8と一体のレバー9をコンピュータ10によって制御されるアクチュエータ11によって揺動させることにより、前記分配弁7を回動させ、高スワールボートへの吸気マニホールド4と低スワールボートへの吸気マニホールド5への空気の流量比率をコントロールするものである。

図示のものはアクチュエータ 1 1 によってレバー 9 を介して分配弁 7 を作動させているが。

回転センサによって作動するON -OFF切換式のものでもよく、また低回転から高回転まで連続的にレバーを動かすステップモータ式のものをコンピュータで作動させるものでもよい。

30 なお、分配弁7の角度とエンジンの回転数との関係としては、第5図の(a)に示すように階段的な態様や、(b)に示すような曲線状の態様のいずれかの方式が得られるものである。

〔発明の効果〕

この発明の上述の構造によれば、自動車の走行速度の変化に伴なうエンジンの回転数の増減に応じて、その時々の)!転状態に最適なスワール比を自動的に選択できるので、この種エンジンにおいて2要求される回転、負荷の広い使用範囲に対応して燃焼改善に寄与するところ多大なものがある。

【図面の簡単な説明】

第1図はこの発明の一実施例の構成図、第2図はその一部分の断面図、第3図(a)(b)(c)は分配弁の切換態様を示す説明図、第4図は第二実施例の構成図で、第5図(a)(b)は分配弁の角度とエンジンの回転数との関係を示すグラフである。

なお図において、

- 2 高スワールの吸気ポート
- 3 低スワールの吸気ボート
- 4 2への吸気マニホールド

3

3への吸気マニホールド 合流部

分配部

である。

5:3への吸気マニホ

6:合流部 7:分配弁

ルド

第

図

第

図

第 図

第

図

(a) (b)

r, p, m

r, p, m

10

20

⑩ 日本国特許庁(JP)

①特許出願公開

⑫公開特許公報(A) 平3-246320

Int, Cl. 3

識別記号

庁内整理番号

@公開 平成3年(1991)11月1日

F 02 B 31/02 F 02 M 35/10

301 B

6502-3G 7049-3G

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

60発明の名称

ディーゼルエンジンの吸気コントロール装置

②特 顧 平2-39597

❷出 願 平2(1990)2月22日

72発明 者 西 Œ

会社内

東京都日野市日野台3丁目1番地1 日野自動車工業株式 会社内

70発 明 者 ÞŅ. 油

東京都日野市日野台3丁目1番地1 日野自動車工業株式 晃

類 人 日野自動車工業株式会 创出

東京都日野市日野台3丁目1番地1

社

四代 理 人 弁理士 石 山 外1名

1. 禁閉の名称

ディーゼルエンジンの勇気コントロール技賃

2. 符許請求の範囲

- (1) 1シリンダ当り2祖の吸気ポートを有する ディーゼルエンジンにおいて、前記各組の吸 気ポートを高スワールポートと低スワールボ ートとして構成し、各シリンダのこれら両者 ポートにそれぞれ別の吸気マニホールドを接 続し、高スワールポートへの勇気マニホール ドと低スワールポートへの各般気マニホール ドの合流部に、これら各吸気マニホールドへ の空気の流量比率をコントロールする分配が を配設することを特徴とするディーゼルエン ジンの吸気コントロール装置。
- 3. 発明の詳細な説明

[前輩上の利用分野]

この発明は自動車用ディーゼルエンジンに おいて、低速から高速までの燃焼にマツチし た吸気を持るために、スワール比をエンジン

の回転に応じて可変とすることができる吸気 . コントロール数包に関する。

〔従来の技術〕

従来の4 非エンジンの吸気ポートは、高ス ワールが待られるスワールポートと低スワー ルのダイレクショナルポートに分かれており、 これらはすべて一体の吸気マニホールドに速 おされていた.

〔発明が解決しようとする誤題〕

ところで一般に高速では低スワール、低速 'では高スワールとすることが、混合気形成に' 有利であることは良く知られているところで あり- 上述のようにすべての吸気マニホール ドが一体に連結されていると、低速でスワー ル小、高速でスワール大となつて、低速及び 高速の双方において最適な混合気が得られに くいということが経験された。

【観閲を解決するための手段】

ここにおいてこの発明は、Lシリンダ当り 2 粗の吸気ポートを有するディーゼルエンジ

特開平3-246320 (2)

ンにおいて、前記各組の吸気ポートを高スワールポートと低スワールポートとして構成し、各シリンダのこれら両者ボートにそれぞれ別の吸気マニホールドを接続し、高スワールポートへの吸気マニホールドの合液部に、これら各吸気マニホールドの空気の流量比率をコントロールする分配弁を配設することを特徴とするディーゼルエンジンの吸気コントロール数配を提案するものである。

(作用)

前記傳成からなるこの発明の装置において、 エアクリーナ又はターボチヤージヤから供給 される空気は前記合流部において、分配弁に よつて、その時々の速転条件に応じて高スワ ールポートへの吸気マニホールドと低スワー ルポートへの吸気マニホールドに、適切な流 量比率で分配されるのである。

(突施例)

次にこの発明を承付団面に示す実施例につ

第4回は前記分配弁7の一つの支施形態を示すもので、分配弁7を支承する支輪8と一体のレバー9をコンピュータ10によつて制御されるアクチュエータ11によつて援動させることにより、前記分配弁7を回動させ、高スワールポートへの吸気マニホールド4と低スワールポートへの吸気マニホールド5への空気の流量比率をコントロールするものである。

図示のものはアクチュエータ11によつてレバー9を介して分配弁7を作動させているが、 図転センサによつて作動するON-OFF切換式 のものでもよく、また低回転から高回転まで 連続的にレバーを動かすステップモータ式の ものをコンピュータで作動させるものでもよい。

なお、分配非7の角度とエンジンの回転数との関係としては、第5回の(a)に示すように関权的な類様や、(b)に示すような曲線状の無機のいずれかの方式が将られるものである。

いて説明する。

先ず祭1回ないし第3回に示す第一実施例 において、1は4井式6気筒ディーゼルエン ジンのシリンダヘツドを示し、各シリンダに は高スワールの吸気ポート2と狂スワールの 吸気ポート3とが偉えられており、これら各 シリンダの吸気ポート 2 及び吸気ポート 3 に は各別の吸気マニホールド4及び5を接続さ せ、これら商吸気マニホールド4及び5の合 流部6において、分配升7を配益し、この分 配弁7を回動させることによつて、エアクリ ーナ又はターポチヤージヤ(図示せず) から 前紀両吸気マニホールド4及び5へ流入する 空気の浪量比率をコントロールするのであつ て、支輪8の周に回勤する前記分配弁7の作 動によるコントロールの状態を斃る因によつ て説明すると、(a)によつては中間的なスワ -ルが得られ、(b)によつては高スワールが、 (c)によつては低スワールが符られるのであ

[発明の効果]

この発明の上述の構造によれば、自動車の 走行速度の変化に伴なうエンジンの回転数の 増減に応じて、その時々の速転状態に最適な スワール比を自動的に選択できるので、この 種エンジンにおいて、要求される回転、食荷 の広い使用範囲に対応して燃焼改客に寄与す るところ多大なものがある。

4. 図面の簡単な説明

第1回はこの発明の一実施制の構成図、第2回はその一部分の斯面図、第3回(a)(b)(c)は分配弁の切換機様を示す説明図、第4回は第二実施制の構成図で、第5回(a)(b)は分配件の角度とエンジンの回転数との関係を示すグラフである。

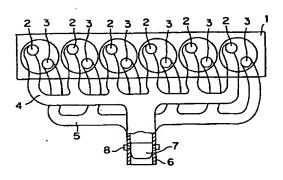
なお図において、・

- 2 高スワールの吸気ポート
- 3 低スワールの吸気ボート
- 4 2への吸気マニホールド
- 5 3への吸気マニホールド

特開平3-246320(3)

6 分配部 7

図



2:高スワールの吸気ポート 3:低スワールの吸気ポート 4:2への吸気マニホールド 5:3への吸気マニホールド 6:合流部 7:分配弁

